

虹とそのなかま

2月1日(木)～4月1日(日)

寄贈品コーナー

昨年12月3日、雲間から射し込んだ朝日が鮮やかな虹を作り出し、市内の各所で目撃されました。当博物館にも、インターネットを通じて写真の投稿をいただきました。

いったい、虹はどうして現れるのでしょうか。あのトンネルはなぜくぐることができないのでしょうか。

虹は雨粒と太陽の光が織り成す現象です。まるい水滴の「中で」反射した光が、美しい七色の輝きを作るのです。反射した光ですから、虹に向かっていくら歩いても、むこうがわに行くことは決してできません。

また、くわしく観察すると、二重の虹など、珍しい虹に出会えることもあります。

今月の寄贈品コーナーは、いただいた虹の写真を元に、複雑な虹や、虹と同じような光を見せるその他の現象を紹介します。

2007年2月1日(木)～4月1日(日)



劔持瑞穂さんからホームページの「みんなの自然アルバム」に投稿いただいた写真より